

第2部



決算審査 (民生部)



◆議案第59号から第72号について

問 海部地方教育事務協議会規約の変更で、幹事会の委員が4名から7名になった理由は。

答 以前は海部津島地区を4ブロックに分け、それぞれ委員を選出していた。現状各市町村から1名ずつ委員が出て7名となり、明確に規約とした。

問 私的契約児の保育料は今までと同じ料金か。

答 同じ料金。

問 愛西市は副食費に対して、3500円の補助をするに決めたが、弥富市の対応は。

答 他市の動向を見ていきたい。

問 生活保護受給世帯で、生活扶助の延べ世帯数が増えているのに、延べ人数が減った理由は。

答 生活保護を受ける高齢者の単身世帯が増加したため。

問 外国人の登録人数が増えているが、どのような資格で在留しているか。

答 ほとんどが就労。技能実習生が最も多い。



問 社会福祉協議会の結婚活動事業の内容は。

答 相談員による結婚相談や「やとみふく婚パーティー」を2回開催。合計で男性34名、女性26名の参加、10組のカップルが成立。

問 病児・病後児の援助依頼件数と援助活動数の違いは。

答 援助依頼件数66件は、利用会員から病児保育の依頼件数。援助活動数38回は援助をした協力会員数。



問 児童館の利用者が年々減っている原因は。

答 共働き世帯の増加により、児童クラブを利用する児童が増えた。また、習い事に通う児童や、猛暑日に外出を控える児童が増えたため。

子育て支援センターできたことにより、乳幼児と保護者の利用も減った。

問 単位老人クラブ数が69から67へ減少している理由は。

答 会員数が40人を満たさなくなったため、隣接するクラブに移っていったなど。60代の就労者が多くなり、新規会員の入会が減った。また、役員のなり手がいないため、会員数が増えない。

問 子ども会の単子数は、どれくらい減っているか。

答 平成27年度53単子から平成30年度44単子。



▲子ども会夏季スポーツ大会より

決算審査 (教育部)



問 弥富中学校クラブハウス前の地盤沈下状況は。

答 校舎や体育館は、岩盤まで杭打ちがされており沈下しないが、その周りが沈下している状況。



▲対策が施されたクラブハウス前 (左：撤去後、右：撤去前)

問 生涯学習課所管の公共施設の台風21号の被害総額は。

答 約1200万円。

問 ガムテープで応急処置がされている南部コミュニティセンターのトイレの修繕は。

答 計画的に修繕を進める。



第3部 討論・採決



問 アクティブに入室していない不登校児童生徒の対応は。

答 個々の事情に合わせて対応している。

認定第1号を除き討論・採決が行われ、全議案を了承しました。

認定第1号については継続審査とすることに決しました。